

特別支援学校小学部における道徳科の目標、内容等については、「小学校に準ずること」となっている。しかし、指導計画の作成と内容の取扱いについては、学習指導要領に準ずるのみならず、特別支援学校独自の項目が三つ示されており、これらの事項に十分配慮する必要がある。

その中で、各教科や特別活動、自立活動等の指導と関連させ、生活に結び付いた内容を題材とした体験を重視する実践をしたいと考えた。そこで、生活単元学習で、自分や友達の気持ちを知ったり考えたりする学習、身近な人に手紙を書く学習について授業研究に取り組んだ

以下に、学習指導案（児童の詳細な情報等については省略）を示し、研修概要としたい。

### 小学部 生活単元学習 学習指導案

1 単元名 自分の気持ちを伝えよう！友達の気持ちを知ろう！

2 単元設定の理由

(1) 児童観

本クラスは、男児○名女児○名の計5名で構成されている（中略）。

言語の理解について、全員日常会話や指示理解はすることができる。しかし、言語の表出には差がある。○名は言葉のやり取りを確実にすることができる。（中略）使い慣れた単語を発語できるが、常時場面に合わせて言葉で伝えることは難しい児童が○名である。

コミュニケーションに関しては、どの児童も人との関わりを楽しむことができる。年度当初は、大人との会話や個別に遊ぶことを楽しむ児童が多かったが、（中略）自分の気持ちを相手に伝えることが難しいので、誤解が生まれ、トラブルになる場合も多い。

劇遊び「おむすびころりん」では、全員が決められた場面で自分の台詞を言ったり、タブレットを操作したりする活動をした（後略）。

(2) 単元観

本単元は、自分や友達の感情の変化に気付き、感情を表す表情や言葉を知り、自分の気持ちを適切に伝えられるようになることをねらいとしている。そのために、まず、表情と気持ちを結びつけながら、気持ちを表す言葉のバリエーションを知り、気持ち（表情）ポスターを作成する。その作成したポスターを使い、いろいろな場面で自分がどのような表情や気持ちになるのかを考え、友達と比較する。自分の気持ちを表現するとともに、友達の気持ちを聞いて様々な気持ちがあることに気付くことができると思う。単元の後半では、自分の気持ちを適切に伝えられる方法として、表情や身振り、言い方について練習する。その上で具体的な場面でのロールプレイをすることを通して意欲的に活動し、相手の気持ちを読み取ることや自分の気持ちを適切に伝えることができるようにしていく。また、動画での振り返りを行い自分の伝え方を客観的に評価しながら、より良い伝え方に改善する手立てとしたい。

また、適切な言葉のやり取りや友達の気持ちを知り、受容し、自分の思いを伝える経験を積む機会となり、日常生活での物の貸し借りや思いを伝えあうときに生かすことができるようにしたい。

(3) 指導観

指導に当たってはまず、学習活動を理解して活動できるようにしたい。全員が安心して活動のイメージをもったり、最後まで集中して取り組むことができるようにしたりするために、授業の始めには活動の流れを簡単な言葉やイラストで示し、見通しがもてるようにする。

感情を示すカードは、シンプルなイラストを使用し、適切な感情を理解できるようにする。また、文字の理解が難しい児童には、表情イラスト付きの文字カードを使用するなど、児童の実態に合わせて教材のパターンをいくつか用意しておく。また、ロールプレイの動画を使用することで、実際に経験したことを想起して、そのときの自分の気持ちや相手の気持ちを振り返ることができるように支援したい。そうすることで、より生活の中で、友だちの気持ちになって物事を考えることができる力を育成したい。気持ちを表す言葉を学ぶだけでなく、気持ちと表情（身振りも含む）との関連に気付くようにしたい。そのためにも、実生活の中でよく目にする場面を取り上げて、経験した状況を思い出して、そのときの気持ちを表す言葉に置き換える指導を行いたい。その際、「口がにっこり笑っている。」「目とまゆげが下がっている。」などの表情に注目させてから、「楽しい」「悲しい」などの気持ちを表す言葉につなげる指導をしたい。

### 3 単元の計画（全4時間）

次	時数	小単元名	主眼
1	1	表情を表すカードを使って、感情を表す言葉の種類を知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな表情や感情があることを知ることができる。</li> <li>・知っている感情の言葉を、表現することができる。</li> </ul>
	2	場面絵や写真、動画などを見て、自分はどんな感情になるか考えてみよう。（本時1/2）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面絵や写真、動画などの状況の時、自分はどんな気持ちか思い出したり、想像したりすることができる。</li> <li>・知っている感情の言葉で、自分の気持ちを適切に表現することができる。</li> </ul>
2	1	自分の気持ちを、友達に伝える練習をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を意識して、伝えることができる。</li> </ul>

### 4 単元の目標

- (1) 表情のカードを手がかりに気持ちを表す言葉の種類を理解し、分類することができる。  
(知識及び技能)
- (2) 場面絵や写真、動画などをもとに自分の気持ちを考え、相手に伝えることができる。  
(思考力、判断力、表現力)
- (3) 学習活動を理解し、自分と友達との感情の変化の違いを知ることができる。  
(学びに向かう力、人間性)

### 5 本時の学習計画

- (1) 単元名 「場面絵や写真、動画などを見て、自分はどんな感情になるか考えてみよう」
- (2) 本時の全体目標及び個人目標

#### ① 全体目標

- ・いろいろな場面での自分の感情に気付いたり、気持ちを表現したりすることができる。
- ・友達と自分の感情の違いを知ることができる。

#### ② 個人目標

児童	これまでの様子	個人目標	評価の基準・方法
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達がきちんとできていないことがあると、身振りや言葉で伝えようとするところがある。</li> </ul> (後略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が表現する感情を知り、自分の感情との違いに気付くことができる。</li> </ul> (後略)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が表現する感情を知り、自分の感情との違いに気付くことができたか。</li> </ul> (後略)

- (3) (4) 省略

(5) 学習過程

時間	学習活動及び内容	A	B	C	D	E
0	1. 始めの挨拶をする。		号令に合わせて始めの挨拶をする。 ○「気をつけ」の言葉かけで手を膝の上に置いて挨拶ができるようにする。 (T 2) (T 3)			
1	2. 本時の活動内容を知る。 ・活動の流れ 1. 気持ちの確認 2. 言い方を知る 3. 練習する 4. 振り返り		全体の説明を聞き、手順表を見ることで活動の流れを確認する。 ☆手順表や教員の話聞くことで、活動の流れに見通しをもつことができたか。			
5	3. 学校生活の場面で、感情が変化していることに気付く。 ・感情の種類を確認  ・学校生活での振り返り		絵や文字の感情表現のカードを見て、感情の種類や変化について知る。 ○感情の種類を、自分で考えたり、確認したりできるように、カードを準備する。 うれしい たのしい はずかしい かなしい いやだ イライラする ○授業中や遊びの場面の写真を提示し、自分のその時の気持ちを振り返る。 そして、本児の学習内容をより身近に感じられるようにする。 個別学習の場面 給食の場面 学校間交流をした場面 モルモットがいた場面 ○写真のときの表情に着目させて、適切に判断したり、思い出したりできるようにする。 ☆絵や文字カードを見て、感情の種類や変化に気付くことができたか。			・勉強たのしいな ・給食うれしいな ・交流はずかしいな ・モルモットとお別れさみしいな
10	4. 上手な感情表現の仕方を知る。 ・声の出し方 ・表情 ・感情を伝えるときの気持ち		絵や文字の感情表現のカードを確認しながら、適切な感情の伝え方を知る。 うれしい たのしい はずかしい かなしい いやだ イライラする ○着目するポイント（声の出し方、表情）を確認し、適切な伝え方が理解できるようにする。 ○言い方によって気持ちの伝わり方が違うことがあることが分かるように、良い例と悪い例を教師が演示して見せ、どの伝え方が良いか考えられるようにする。 ○個別にカードを準備し、自分で考えられるようにする。 ☆適切な感情の伝え方を考え、知ることができたか。			

15	<p>5. 教師や友達に、感情を伝える練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に</li> <li>・友達と一緒に</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">         うれしい          たのしい          すき          いやだ          かなしい          きらい       </div>	声の出し方、表情、感情を伝えるときの気持ちに気を付けて、自分の感情を教師や友達を相手に伝える練習をする。				
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">         給食のときの場面、目の前にお菓子がある場面       </div>				
		<p>○適切な声の出し方、相手を見て伝えられるように、言葉かけをする。</p>	<p>○相手に伝わる声の出し方、相手を見ることを意識できるように、言葉かけをする。</p>	<p>○表情カードを確認し、適切な声の出し方や言い方を意識して取り組めるようにする。</p>	<p>○表情カードを確認し、適切な声の出し方を確認したり、相手を見ることを意識して伝えられるようにしたりする。</p>	<p>○表情カードを確認し、声に出して言ったり、必要に応じてタブレット端末などを活用したりして取り組めるようにする。</p>
		<p>○個別に花丸カードを準備し、よくできていると思った友達には、花丸を提示するように伝える。</p>				
		<p>○落ち着いて取り組めていることや友達の活動をよく見ていることを称賛し、最後まで活動に取り組めるようにする。</p>				
		<p>☆声の出し方、表情、感情を伝えるときの気持ちに気を付けて、自分の感情を教師や友達に伝える練習をすることができたか。</p>				
5	<p>6. 動画を活用し、気持ちの伝え方の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ち</li> <li>・友達の気持ち</li> </ul>	<p>○感情を伝える練習をしている場面の動画を視聴し、自分や友達の気持ちの伝え方で、良かったところの振り返りをする。</p>				
		<p>○声の大きさ、相手を見て伝えられたことを称賛し、価値づけるようにする。</p>	<p>○相手に伝わる声の大きさを言おうとしたことを称賛し、価値づけるようにする。</p>	<p>○適切な声の大きさや言い方を意識して取り組めたことを称賛し、価値づけるようにする。</p>	<p>○適切な声の大きさを、相手を見て伝えられたことを称賛し、価値づけるようにする。</p>	<p>○声に出して伝えようとしていることや、友達に伝えようとしていることを称賛し、価値づけるようにする。</p>
		<p>☆動画や教師の言葉かけで、自分や友達の気持ちの伝え方で、良かったところに気付くことができたか。</p>				
1	<p>5. 終わりの挨拶をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">         号令に合わせて終わりの挨拶をする。       </div>				
		<p>○「気をつけ」の言葉かけで、手を膝の上に置いて挨拶ができるようにする。</p>				